

授業科目 理学療法基礎評価学 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
高橋 英明、齋藤 慧、玉越 敬悟		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：GI0】					
理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、各種検査測定法の手順を修得し、評価全体の流れを修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 神経系検査、関節可動域測定の手順に慣れる 2. 検査・測定からの結果を説明する 3. 各評価の結果を解釈し、統合し説明する 4. 医療記録を模倣する 5. 学生間で学びあいながら主体的学習活動に取り組む					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1.2	理学療法評価の展開	2.5	講義および演習：医療面接、情報収集、理学療法評価の目的、担当：高橋 英明 他		
3.4	関節可動域測定（1）	1.2.5	講義および演習：ROM（上肢）、担当：玉越 敬悟 他		
5.6	関節可動域測定（2）	1.2.5	講義および演習：ROM（上肢・体幹）、担当：玉越 敬悟 他		
7.8	関節可動域測定（3）	1.2.5	講義および演習：ROM（下肢）、担当：玉越 敬悟 他		
9.10	関節可動域測定（4）	1.2.5	講義および演習：ROM（下肢）、担当：玉越 敬悟 他		
11.12	神経系検査（1）	1.2.5	講義および演習：反射検査、担当：齋藤 慧 他		
13.14	神経系検査（2）	1.2.5	講義および演習：片麻痺機能検査、担当：齋藤 慧 他		
15.16	神経系検査（3）	1.2.5	講義および演習：脳神経検査、担当：齋藤 慧 他		
17.18	神経系検査（4）	1.2.5	講義および演習：バランス検査、担当：齋藤 慧 他		
19.20	神経系検査（5）	1.2.5	講義および演習：感覚検査、疼痛、担当：高橋 英明 他		
21.22	姿勢・動作分析（1）	2.3.5	講義および演習：姿勢分析、担当：高橋 英明 他		
23.24	姿勢・動作分析（2）	2.3.5	講義および演習：基本動作分析、担当：高橋 英明 他		
25.26	姿勢・動作分析（3）	2.3.5	講義および演習：歩行分析、担当：高橋 英明 他		
27.28	カルテからの情報収集と記載方法	2.3.4	講義および演習：臨床検査データの確認、画像所見の確認、カルテの記載方法、担当：玉越 敬悟 他		
29.30	症例報告の実際	2.3.4.5	講義および演習：症例報告の書き方、担当：齋藤 慧 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	DVD シリーズ PT・OTのための 測定評価1：ROM測定 第2版	福田 修、伊藤 俊一、星 文彦	三輪書店	2010・3,990円＋税	
	理学療法評価学テキスト	細田 多穂、星 文彦、伊藤 俊一 他	南江堂	2010・5,700円＋税	
参考書	リハビリテーションリスク管理 ハンドブック	亀田メディカルセンター 他	メジカルビュー社	2008・4,200円＋税	
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験（約90%）および出席状況（約10%）の総合点で評価する。		実技に適切な服装で参加してください。			